

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	田沢湖ソーデーマーチ開催費補助金					
担 当 課 係 名	観 光 課		観 光 係		作 成 者	伊 藤 薫
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画の ページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし				
	主要施策	テンミリオン計画の推進				29
予 算 費 目	一 般 会 計	7 款 商 工 費	1 項 商 工 費	3 目 観 光 費		
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	仙北市補助金等交付規則					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☒ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象（誰のため・何を）	ウォーキング愛好者が歩くことを通じ、健康増進と人々の交流を図り地域活性化につなげる。
事業の目的・意図（どういう状態にしたいのか）	ウォーキングによる心身の健康と自然にやさしいライフスタイルの創造を目指し健康で明るい社会作りを図る。
事業の内容（どのような業務、活動を行うのか）	1日目 （40km 22km 12km 5km） 2日目 （30km 20km 10km 5km）

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	観光客数	目標	人	1,350	1,200	1,100	
			実績	人	1,057	1,066	1,004	
			達成度	%	78.3%	88.8%	91.3%	
	成果指標	観光客前年対比	目標	%	100.0	88.9	91.7	
			実績	%	63.5	100.9	94.2	
			達成度	%	63.5%	113.5%	102.7%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				1,200	1,200	1,200	
	人 件 費 (B)		—		79	81	79	
	職 員 数		—		0.01	0.01	0.01	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				1,279	1,281	1,279	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				1,279	1,281	1,279
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		1,210	1,202	1,274
		市民1人当たりのコスト(円)		—		40	41	41

【事務事業の今までの成果】

参加者のほとんどが宿泊している。比較的観光客の少ない時期であり、宿泊施設・観光施設にとっては大きな経済効果があると思われる。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	特になし
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	地元参加者の増加に期待

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	コースの検討 距離・種類・その他
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

他の大会にはないコース設定、サービスの向上を目指す。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	参加者数は一定の水準を維持しており、宿泊による経済効果もあると考えられます。引き続き事業内容の検討を行い、参加者の増加に向けた改善を行いながら継続すべきと考えます。

一次評価診断図

